

第 68 回東日本選手権競漕大会スケジュール（暫定版）と大会の運営の変更について

平成 30 年 6 月 13 日
一般社団法人東京都ボート協会
競技本部

いつも弊協会の大会運営へのご理解とご協力、ありがとうございます。

さて第 68 回東日本選手権競漕大会については、過日大会要項を公表し、各クルーの出漕申し込み受付まで完了致しました。これに基づき、大会スケジュールを作成し、弊協会 HP 上へアップ致しました。

これは「暫定版」と記されておりますが、これは今大会の実施に際し、大きな変更を行うためであり、以下説明を致します。

ご承知の方も多いと思われませんが、本年は春先より戸田コースでの藻の繁殖が著しく、しばしばそれが艇の航行に大きな支障を与えており、関係各位のご努力にもかかわらず、なかなかそうした状況は改善されておられません。このため例えば 6 月 9 日に実施した弊協会主催の国体成年都予選では、通常 1000m 地点より 2000m 地点までの 1000m レースとして実施しているところを、600m 地点より 1400m 地点までの 800m レースに変更して実施せざるを得ないといった状況にもなっております。

そこで今回の東日本選手権競漕大会では、現時点では大会当日までにこうした状況が大きく改善できる保証が無いこと、及び現在のエントリー状況を踏まえ、誠に残念ながら、以下の様に実施要項を変更致します：

1. レース距離及び競漕水域

特に現時点で藻の増殖が著しい水域を回避するため、レース距離は 0m 地点より 1500m 地点までを使用した 1500m とします。そして各レースは基本的に 2～5 レーンを使用した最大 4 ハイレースとします。

またタイムの計測は 750m 地点及び 1500m 地点（フィニッシュ）にて行います。

なおレース当日の航行ルールは追って弊協会 HP 上等で公表致します。

2. 勝ち上がり方式

基本的に 6 ハイレースを前提とした通常弊協会採用している方式を 4 ハイレースに組み直して適用します。但しそのままではレース数が著しく増加し、2 日間の大会期間での実施は不可能です。このため本大会では、決勝は A（1～4 位までを決定するレース）のみの実施とし、B 以降のレース（順位決定戦）は実施致しません。詳細は次の表を御覧ください。

表. 本大会における勝ち上がり方式

エント リー数	予選			準決勝			決勝 レース数
	レース数	上りクルー		レース数	上りクルー		
		着順上り	タイムに よる上り		着順上り	タイムに よる上り	
1~4	—			—			1
5~8	2	各レース 1位	上位2ハイ	—			1
9~12	3		上位1ハイ	—			1
13~16	4		無し	—			1
17~24	6		上位2ハイ	2	各レース2 位まで	無し	1
25~32	8		無し	2		無し	1
33~40	10		上位2ハイ	3	各レース1 位	上位1ハイ	1
41~48	12		無し	3		上位1ハイ	1
49~56	14		上位2ハイ	4		無し	1
57~64	16		無し	4		無し	1

*各レースにおけるレーンは、予選は抽選により、準決勝及び決勝は権利の強い順（その前のレースの着順及びタイム）に従い、原則 3→4→2→5 の順に割り当てる。なおコース状況により、使用レーンの変更を行う場合がある。

なおこの方式では、予選及び準決を各レース1位上りのみとしても最大64クルーまでしか対応できませんが、現時点でこれを越えたエントリーを頂いているのは、M1Xが66ハイとの状況です。

そこでM1Xの予選のうち2レースについては、5ハイとします。これは現状の藻の状況は、特にラダーを備える舵手付き艇等でその影響が大きいですが、1Xの様な底部にフィンのみ艇については、比較的影響が少ないことからの判断です。但し当該レースにおいて、5番目のレーンとして1レーン、6レーンの何れを使用するかは、当日のコース状況に基づき競漕委員会及び審判団にて判断致します。

3. エントリー取消しの受付と今後の日程

以上の様に本大会では、実施に当たって大幅な変更を致しますが、これに対し、エントリーを頂いた出漕団体としては、本来期待していた大会の主旨や目的とするところとは異なる等の理由で参加の取下げを希望される場合もあるかと存じます。

このため今回は特例として一旦参加を申し込まれたが取り消しを希望される場合、メールにて6/15（金）17:00までに弊協会・事務局宛に届出を行って下さい。（もしメールでの対応が不可能な場合、電話等で前記日時までに事務局までご連絡下さい。）

この場合、通常の棄権扱いとはせず、払込み済みの当該クルーの出漕料は全額返還致します。

この結果、必要実施レース数の減少等が生じた場合、今回公表のレーススケジュール（暫定版）を修正のうえ、6/15（金）中にレーン抽選を実施し、6/18（月）に最終的なレーススケジュール及び組合せをHPにて公表致します。

4. レースの進行について

以上のように、今回は藻の影響をできるだけ回避した形で運営していきませんが、それでもそれらを皆無に管理することは不可能であり、いわばコントロール下に置けない自然現象によるものなので、レース中藻による危険な状態が生じた場合、適宜審判より進路変更や当該艇の進行停止等の指示を下すことがありますので、それに従って下さい。また例えば藻により漕ぎにくかった等の理由で再レースを求める様なアピールは認められません。（これらは5/17～20実施の日本ボート協会主催の第40回全日本軽量級選手権大会における審判団のスタンスと同様です。）

以上、自然現象とはいえ、通常ではない状態で大会を運営せねばならない今回の事情に関し、関係各位の御理解とご協力をお願い申し上げます。

また今後共状況により大会運営について適宜必要事項を伝達する場合がありますので、引き続き弊協会のHPにはご注意をお願い致します。

以上